

会議録

会議の名称	第1回 部活動地域展開検討委員会
開催日時	令和5年10月25日(水) 15時～16時45分
開催場所	市役所5階 5-4会議室
出席者	窪田委員長、赤羽副委員長、宮崎委員、堀池委員、宮坂委員、 谷本委員、友田委員、阿藤委員、高橋委員、太田委員、山岸委員 安部委員、木島委員、高木委員、吉野委員
事務局	教育部教育指導課 下斗米課長、森谷副主幹
議題	1 座間市部活動地域移行検討委員会要綱について 2 委員長・副委員長の選出 3 地域移行における国・県の動きについて 4 座間市の部活動の現状について
資料の名称	1 座間市部活動地域移行検討委員会要綱 2 令和5年度座間市部活動一覧 3 第1回部活動地域移行検討委員会スライド資料
会議の結果	
議題1	座間市部活動地域移行検討委員会要綱について説明、質疑
議題2	委員長・副委員長を選出
議題3	地域移行における国・県の動きについて説明、質疑
議題4	座間市の部活動の現状について説明、質疑
議事の概要	
事務局	座間市部活動地域移行検討委員会要綱について説明。
事務局	委員長・副委員長を互選にて選出。
事務局	地域移行における国・県の動きについて説明。
事務局	座間市の部活動の現状について説明。
委員	～協議における主な意見等～ スポーツ少年団では、スポーツ庁の意向を受けて、地域指導者として、公認の資格をもつ方が増えてきている。現在は小学生対象だが、中学生にまで広げていけるようにしていく必要があると感じる。中学校単位で、総合型のクラブがあるとよいと思う。種目

ごとに地域移行の方法を分けてしまうと収集つかなくなってしまうのではないか。

委員

国の動きや他市の動きをみる必要もあるが、座間市としてどのようにやっていけるのかを考えたい。教員の7～8割は部活動をやりたくない現状もある。また、合同のチームで現在行っていることなどもある。完全に地域移行でなく、中学校合同で行うようにしていくのもよいかと思う。

委員

活動の中には文化部もある。座間市には、生物部がないが、過去は人気があった部活だった。華道、茶道など中学校にはないけれど、若い人の活動も見ている。スポーツが中心の話し合いになるかもしれないが、文化関連の協力の制度もできればよいと考えている。

委員

合唱部は少ないが全校で合唱コンクールは行われている。合唱等の指導に協力できると思う。学校との縁が遠くなったが、協力していきたい。少し広げて活動ができればよいと思う。

委員

今後も大会を行っていくとすれば、学校が関与していくということなのか、学校の部活動を地域が担っていくということなのか、そもそも学校としては部活動に関与しないということなのか、すべて地域が子どもたちを受け入れていく環境を目指していくのかというところで、座間が目指す方向はどちらなのかわからないところがある。学校の先生方がどう考えているのかも聞きたい。

委員

座間市が少子化傾向にあり、部活動の人数が減少している現状がある。野球部のグラウンド整備、吹奏楽部の楽器購入の希望などもある。整備費用はどうなるのか。保護者が負担した費用の使われ方や、費用はいくらになるのかといった課題もある。

委員

(自分の)子ども4人とも、部活動を行っていて、育ってきた。部活動の良い面は、部活だけでなく学業面も併せてみてもらっていたこと。すべての人が、お金をかけられるとも言えない。費用の負担のことも考えなくてはいけない。

委員

先生の本音を聞いた。費用面が課題。クラブだけで考えていくべきかが課題。例えば、ダンスが行いたい子どももいるだろう。

委員

吹奏楽が地域移行するには、考えなくてはいけないことが多い。

楽器の用意や全員が集まる場所、送迎などの難しい問題点がある。音楽をやりたい、スポーツをやりたいと思う生徒がいるのなら、達成感を味わわせることも必要。余暇として行う生徒もいるだろうとは思うが。

委員

野球部も部員が減っている傾向がある。部活を通して、育ってきたことや育てられたこともある。すべてが地域に移ってしまうことに抵抗もある。自分の得意な種目を担当している顧問、得意でない種目を担当している顧問もいる。多くの教師の意見を聞いて反映できるようにしていきたい。

委員

学校の現状は若い教員が増えている。部活動の現状も変わってきている。今よりも多くの地域の方の協力が必要になってくる。また、教員が兼業する必要もでてくるだろう。お金がないとできないこともある。人間を育てていくことなので、生徒指導面もあり、それは地域の方にかなり負担がかかることだと思う。

委員

やっとスタートラインに立ったと思う。部活動に対して、一生懸命やる教師、仕方なく行っている教師、様々。地域の意見も様々だろう。座間市としてどの方向で行っていくのかを決めないと、頓挫してしまうことも考えられる。予算が増えているところのほうで、地域移行がスムーズに行えていると思う。

委員

学校部活動にない文化や競技にも、こどもは関心があるだろう。地域で指導が行えるものを広く扱うこともできるとよいだろう。部活があることで学校が楽しいという生徒も多くいる。「部活動を3年間やってよかった。」といった主張作文などの作品にも表れている。